

『あいさつの大切さ』

多久市立東原庠舎東部校 7年 小部 美乃莉

私は、あいさつは大切な事だと思います。あいさつはいろいろな所で使われていて、すごいと思いました。「おはようございます。」「こんにちは。」「こんばんは。」「ありがとう。」「ごめんね。」などの一言を言うだけで、とっても嬉しくなるからです。

私は朝、登校中に地域の人にあいさつを交わします。相手があいさつを返してくれると、とても気持ち良くなります。だけど、たまにあいさつを返してくれない事があります。私はとても悲しい気持ちになります。なので、私は相手がいまえに自分から、あいさつをするのと、あいさつを返す(笑顔で!)を心がけています。

この前、道徳の授業で、「あいさつを交わして」というのを学びました。私は、授業が進んでいく中で、筆者が考えている事に共感しました。最初に言っていたように、たった一言だけでもあいさつを言う・言ってもらう・交わすだけでも嬉しくなるという事です。だからあいさつをいろいろな人に広めていく事が出来たらいいなと思っています。広まればどこの町も多久市のみんなも明るく、元気になれると思うからです。

あいさつは「コミュニケーション」です。ただあいさつをすればいいというわけではないのです。声量が小さかったりなど聞き取れない・聞きとりにくかったら、あいさつをする意味がなくなってしまうからです。あいさつは、人と人との心をつなげてくれるとてもすごい力です。日常では当たり前を使う言葉に過ぎないかもしれませんが。例えば、何かをしてくれたときには感謝の気持ちを表す「ありがとう。」を使ったり、相手に何かをしたあるいは言って傷つけたときは反省の

気持ちを表す「ごめんね。」こんな一言でもいいから、言ってみると、スッキリします。嫌なことをされて謝られなかったらモヤモヤな気持ちになります。そんな感じで考えると楽です。これらのことから、私はあいさつがとても、とても大切なものだと思います。

世の中には子供だけじゃなく、大人まであいさつをしない人がいます。ダメですね。だからといってその人達を無視してあいさつをしないのは、も〜っとダメですね。私は、こう考えています。あいさつをしたがらない、そんな人達までもが、あいさつを大切に考えて、それを実行するようになるように、出会ったらちゃんとあいさつをしていきたいです。そして、あいさつについて語っている自分が誰よりも先に有言実行したいと思います。

私は前まで(あいさつなんてくだらない。適当にして流しとけばいいや)という感覚でやっていました。そんなことを思っていたから、ばちが当たったのだと思います。わざとじゃないけど自分と友達の肩がぶつかった時謝ったけど相手は見向きもしないで、行ってしまいました。何とも言えない複雑な気持ちになりました。その後、ちゃんと話し合っ解決することができました。肩がぶつかって良かったわけではないけれど、そのおかげで私の心が変わったから、それはそれでいいと思いました。

何でもいいから、一つでもきっかけさえあれば、人は変わることができます。このことを私は信じているので、いつか、前までの私のような人がいて、心が少しずつでも変わってくればいいなあと私は思っています。何十年後の未来に、世界があいさつであふれる町になっていることを日々願っています。